



ICHBS2010 EXECUTIVE COMMITTEE SECRETARIAT

c/o Taniguchi Office, Faculty of Letters, Konan University
8-9-1 Okamoto, Higashinada-ku, Kobe, Hyogo 658-8501 JAPAN
http://kankyo-institute.lit.konan-u.ac.jp/~taniguchi/eng/index_e.html

第6回国際保健医療行動科学会議 (ICHBS2010) 事務局

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1 甲南大学文学部 谷口研究室気付
TEL/FAX:078-435-2368 E-mail: fumiaki@konan-u.ac.jp

2010年9月2日
事務連絡

ICHBS2010 参加者 各位

第6回国際保健医療行動科学会議

大会長 谷口文章

第6回国際保健医療行動科学会議ファイナルアナウンスメントのご案内

残暑の厳しい日が続いておりますが、虫の音に秋の気配を感じるころとなりました。皆さまにおかれましては、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

今般、標記会議への参加登録をいただきまして、誠に有り難うございました。下記のとおり、ファイナルアナウンスメントならびに詳細につきましてご案内申し上げます。なお、ご不明な点がございましたらご連絡ください。またプログラムの一部につきましては、クアラルンプール現地事務局との調整の都合で予定変更の可能性もございますので、予めご了承の程お願い致します。

それでは、ラマダン明けのクアラルンプールにてお会いできますことを、心よりお待ちしております。

記

【1】 プログラム (8月30日現在) のご送付 ①会議プログラム(一部変更しております)、②研究発表タイムテーブルを同封しておりますので、別添資料をご参照ください。

【2】 会場変更のお知らせ 9月19日(日)・20日(月^祝敬老の日)の会議場がマラヤ大学キャンパス内の Rumah University(University House)から、法学部講堂 Auditorium Faculty of Law に変更になっております。お間違えのないよう、同封の地図をご確認くださいよう、お願い致します。なお、キャンパスが大変広いので、PJ ヒルトンホテル～会場間のシャトルバス(会議開催期間のみ運行)をご利用ください。

【3】 国際会議のご参加にあたって

***大会受付**

1. 参加受付は、第一日目:9月19日(日)・第二日目:20日(月^祝敬老の日)の両日とも、マラヤ大学法学部1階ホールでおこなわれます。また第三日目:21日(火)のモーニング・セミナー&エデュケーショナル・ツアーは、マラヤ大学医学部 Centre

of Excellence for Research in AIDS (CERiA)にておこないます。

2. 事前参加申込(参加費等の振込)をされた方は事前参加申込受付で、当日参加の方は当日参加受付でそれぞれ受付を済ませてください。当日、参加登録料をお支払いいただく場合は、日本円にてお支払いください。
3. 名札に氏名・所属をご記入いただき、会場では参加証を着用ください。

*昼 食

○会議期間中の昼食ならびに休憩時の飲食代は参加登録料に含まれております。

第一日目	19日(日)	12:20~13:50
第二日目	20日(月)	12:00~13:30
第三日目	21日(火)	12:30~13:50

*レセプション(懇親会)

日 時:第一日目 9月19日(日) 20:00~22:00 ※ムスリムの礼拝時間の関係で予定変更になりましたので、ご注意ください。

会 場:マラヤ大学 Rumah University (University House)

*ダイアログ・セッション(体験学習ワークショップ)

- 第二日目 20日(月)14:45~17:30 ダイアログ・セッションを行ないます。下記の参加・対話型ワークショップから一つお選びいただき、ご参加ください。

①宗教的催眠療法	講師:アナス・ビン・ムハド・ユナス氏(ダルル・アイマン大学)	法学部講堂
②ユナニ(イスラム)医学	講師:オスマン・ベーカー(マラヤ大学名誉教授) ダリナ・イスメイル(クイン・コンサルト)	法学部会議室
③ナラティヴ・アプローチ	講師:中川 晶(大阪産業大学)	CCD Katha ホール

*「口頭発表」発表者の方へ

- ①発表者は当該セッション開始 30 分前までに、会場に入場いただき、各会場の当該セッション座長にお声をかけてください。二会場(A 会場:法学部講堂, B 会場:法学部会議室, C 会場:文明化対話センターCentre for Civilisational Dialogue Katha ホール)に分かれて行ないますので、お早めにご入場ください。会場間(A/B 会場 ↔ C 会場)は ICHBS2010 専用シャトルバス(会議開催期間のみ運行)が運行致しますので、ご利用ください。
- ②発表者一人あたりの持ち時間は 20 分です。発表は 15 分以内とし、残りの 5 分は質疑応答に充てます。その間、座長の指示に従ってください。
- ③口頭発表では、各会場に設置されたパソコン(英語版 Windows PC)と液晶プロジェクターをご使用ください。PC の操作は発表者ご自身で行なってください。各自でお持ちいただいた PC は利用できません。万一の機器類のトラブルに備えて、プリントアウトした原稿(OHC 映写用)を1部ご用意ください。
- ④昨今 USB メモリを媒介にしてコンピュータに感染するウィルスの被害が多発しております。危険なファイルが見つかった場合、データをコピーすることができません。必ず事前に最新のバージョンのウィルス対策ソフトで USB メモリをチェックし、安全性を確認してからお持ちください。
- ⑤設置 PC の PowerPoint バージョンは 2003 です。2007 形式で作成されたデータは、必ず 97-2003 形式で保存しなおしてください。
- ⑥USB 対応の記憶媒体(フラッシュメモリ)、もしくは CD-R でデータをお持ちください。安全のために、開始時間前に会場備付の PC にデータをコピーしておくことをお奨め致します。
- ⑦配布資料がある場合は、30~40 部程度各自で印刷し、ご用意ください。本部事務局と会場が離れておりますので当日、参加受付での印刷依頼は承りかねますので、ご協力の程お願い致します。

*「ポスター発表」発表者の方へ

- ①発表者はポスターを掲示する前に、大会受付でポスター展示の会場と指定されたパネルの場所をご確認ください。
- ②大会第1日目(19日)の午前10:00から、ポスター展示会場のパネルの指定場所にポスターを各自で掲示ください。ご来場後、できるだけ早い時間帯に掲示くださいますよう、お願い致します。掲示用の押しピンは受付で用意します。
- ③ポスター発表のパネル・スペースは横 60cm×縦 90cm です。ポスターの最上部中央に、発表タイトル、演者(共同研究者を

含む)、所属を明記してください。なお、演題番号は事前に表示してあります。

- ④ポスター発表の討議(質疑応答)の時間は、1日目(19日)の12:20～13:20、2日目(20日)の12:00～13:00に設けています。各発表者は、いつでも質疑応答ができるように、必ず自分のポスター展示の前に待機しておいてください。質疑応答は、演題ごとに随時、個別に行なってください。
- ⑤ポスター発表終了後、2日目(20日)の17:00までにポスターを各自で取り外してください。

*プロシーディング論文のご提出について

会議終了後、プロシーディングを印刷する予定です。プロシーディングの論文をA4用紙×5枚程度に纏めていただき、受付デスクに提出ください。プリントアウトした原稿1部とともに、本文、図・表・画像等のすべての電子データ(MSワード、MSエクセル、JPEGなどのファイル)を保存した記憶媒体(CD-R)も提出してください。なお、英文論文の書き方につきましては、本会年報巻末にあります投稿規定をご参照ください。

ご提出いただきました論文はクアラルンプール現地で編集・印刷されます。提出データのなかに全角記号(例えば、%、-、+、 α 、 β 、 γ 、【 】, ≠)が含まれていないことを確認の上、ご提出ください。全角記号は、現地のPC・プリンターで出力した際に文字化けする可能性がありますので、必ず半角記号で表示ください。

*口頭発表座長の先生方へのおねがい

- ①座長は、担当セッションの開始30分前までに、法学部講堂1階ホールの受付で「座長受付」をお済ませください。
- ②担当セッションの開始10分前までに会場へお越しいただき、発表者の確認をお願いします。
- ③ポスター発表・討論(質疑応答)では、発表者は1階フロアにお集りいただき、ポスター会場責任者(ICHBS2010実行委員)から進行についての説明をうけてください。
- ④口頭発表者が欠席の場合は、適宜発表を繰り上げて進行をお願い致します。繰り上げができない場合は、予定どおり進行してください。

【4】 モーニング・セミナー&エデュケーショナル・ツアー 第三日目 9月21日(火) モーニング・セミナー&エデュケーショナル・ツアーは、10:00よりマラヤ大学医学部 Centre of Excellence for Research in AIDS (CERiA)のフロアにて参加者受付を行ないます。午前の部(セミナー:10:30～12:30)終了後、バスでクアラルンプール市内へ移動し、マレーシア AIDS 審議会及びホーム・シェルターを視察致します。17:00 クアラルンプール市内にて解散の予定です。なお、昼食はセミナー&ツアー参加費用(3,000円)のなかに含まれています。

【5】 現地調査研修ツアー (オプション | 9月22日(水)～24日(金)) オプションの現地調査研修ツアーは、7:00 マラヤ大学ゲストハウス(Rumah University)発→7:30PJ ヒルトンホテル前発になります。どちらの乗り場からご乗車されるか、受付デスクのスタッフまで必ずお申し出ください。ツアーはジョホール州エンダウ・ロンピン国立公園(クアラルンプールより所要6時間)におきまして、先住民族 Orang Asli の Jakun People コミュニティのライフスタイル、民間療法、宗教的儀式に関するワークショップ、トレッキング、ナイトクルーズを行ないます。持ち物につきましては、下記のリストをご参照ください。トレッキングやナイトサファリなどのプログラムがはいりますので、動きやすい服装、長袖・長ズボン(虫除け・ヒル除け)、靴下などを用意の上、ご参加ください。

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> パスポート | <input type="checkbox"/> バックパック (2泊3日分の着替えなどが持ち運びできるバック) |
| <input type="checkbox"/> 着替え・下着等 | <input type="checkbox"/> トレッキングシューズ/スニーカー |
| <input type="checkbox"/> 水筒 | <input type="checkbox"/> 電気プラグのアダプター・変圧器 |
| <input type="checkbox"/> 常備薬(正露丸・酔い止め・虫さされetc) | <input type="checkbox"/> バスタオル・洗面用具(シャンプー・リンスなど) |
| <input type="checkbox"/> 帽子・日焼け止めクリーム | <input type="checkbox"/> 水着 |
| <input type="checkbox"/> 長袖Tシャツ・パーカー | <input type="checkbox"/> サンダル |
| <input type="checkbox"/> 雨具(ウインドブレーカー・雨合羽かのぞましい) | (トレッキングでは可川のなかを3回渡る予定です。水に濡れてもよいシューズをご用意ください。;河川のなかは足場が悪いので、履き慣れたものをご用意ください。) |
| <input type="checkbox"/> 虫除けスプレー | |

なお、24日(金)18:00にクアラルンプール市内に帰着の予定です。25日に帰国される方は、24日夜のご宿泊を各自でご手配くださいますよう、お願い致します。参考サイト:エンダウ・ロンピン国立公園(マレーシア政府観光局)
<http://www.tourismmalaysia.or.jp/nature/malay.html#endau>

【6】 緊急連絡先について

大会長	谷口文章(携帯電話)	090-2118-1758
実行委員会事務局	天野雅夫(携帯電話)	090-3286-2110
〃	曾我部晋哉(携帯電話)	090-7201-9217 ★

★PJヒルトンホテル～会場間シャトルバス利用時の責任者

マラヤ大学現地事務局(Centre for Civilisational Dialogue) 603.7967.5697

【7】 マレーシアへの入国・出国のご確認についてのおねがい

緊急時の連絡のために、参加者の皆様のマレーシア・クアラルンプールへのご到着日ならびに帰国日を、実行委員会事務局にてリストアップさせていただいております。つきましては、到着便名・時間ならびに帰国便名・時間(いずれもマレーシア現地時間)を未だお知らせいただいていない方は、至急に事務局までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

なお、JTB 三洋航空サービス 岡本営業所以外でご予約された方で、未だ滞在先をお知らせいただいていない場合には、ご宿泊先ならびに現地での連絡可能な電話番号を併せてお知らせくださいますよう、お願い致します。

【8】 海外旅行保険のご加入について 海外旅行保険のご加入につきましては、各自で事前にご加入くださいますようお願い致します。

【9】 会場までの交通アクセスについて 会議開催期間中、マラヤ大学 ICHBS2010 会場～PJヒルトンホテル間をシャトルバスが運行します。19日(日)7:40, 20日(月)8:30, 21日(火)8:30にPJヒルトンホテル前から会場まででおりますので、ご利用ください。ICHBS2010 のための予約バスですので、各日一便(往路・復路)だけの運行になります。乗り遅れないようにしてください。

会場近隣のホテルに滞在されている場合、ICHBS2010 専用シャトルバスが利用できますので、事務局までご連絡ください。その場合、KL 市内にヒルトンホテルが2カ所ございますので、ヒルトン・ペタリンジャヤまでお間違えのないよう、お越してください。クアラルンプール市内では朝夕の交通渋滞が予測され時間がかかります。お早めに各自のホテルをご出発し、余裕をもってご来場くださいますようお願い致します。会場～ホテルへの帰りの便は、当日受付デスクの横に設置されたインフォメーションボードをご覧ください。

添付資料について

① 会議プログラム

② 研究発表タイムテーブル

③ 会場案内図

事務局からのおねがい

今後の追加連絡につきましては、以下のURL上に情報を配信致します。またご不明な点などありましたら、実行委員会事務局までに9月15日(木)までにお問合せください。16日(木)以降の連絡先につきましては、現地(クアラルンプール)事務局が連絡先になります。

ICHBS2010 実行委員会事務局

〒658-8501 神戸市東灘区岡本

8-9-1 甲南大学文学部

谷口研究室気付

☎078-435-2368

✉fumiaki@konan-u.ac.jp

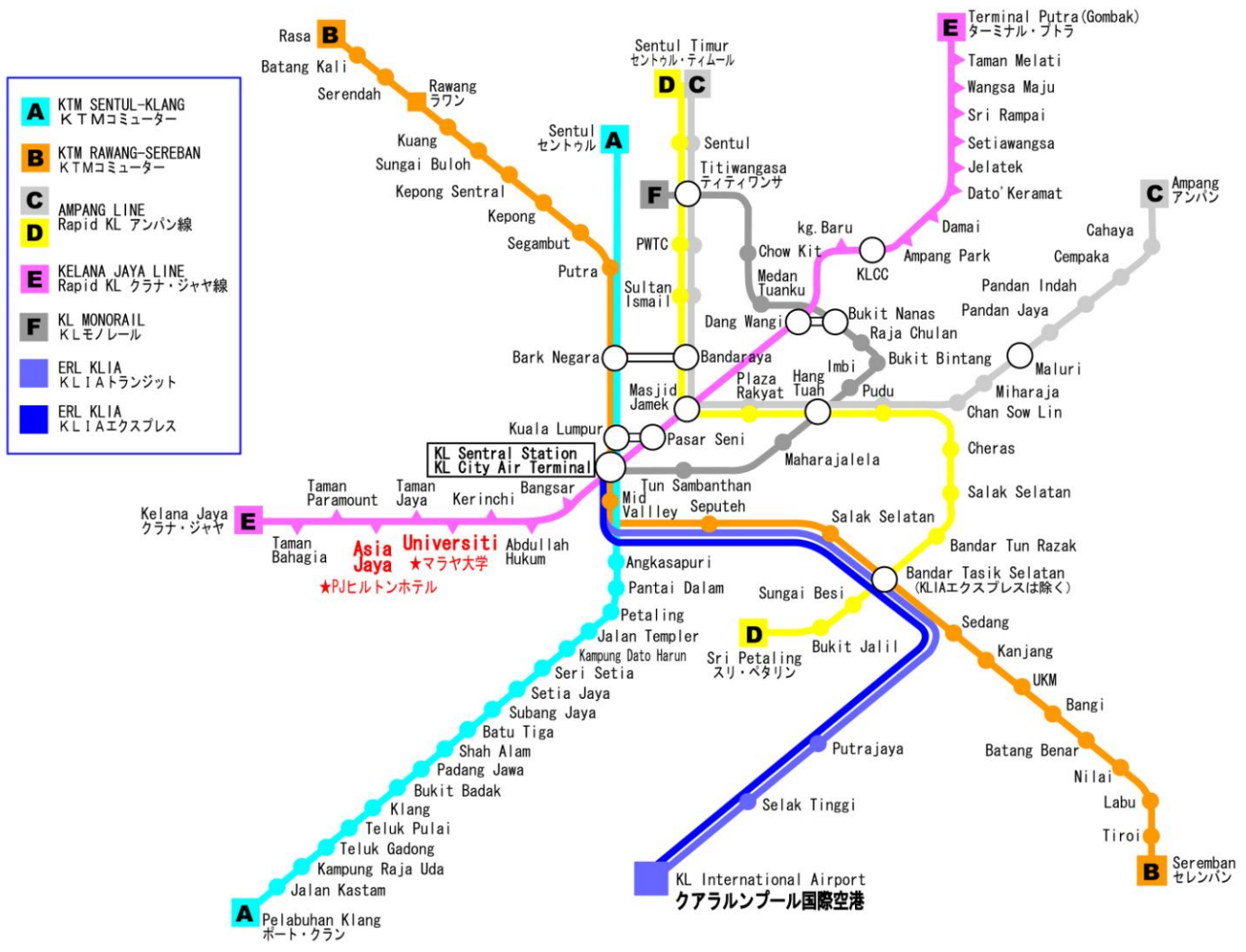
マラヤ大学 Centre for Civilisational Dialogue(クアラルンプール現地事務局)
2nd Floor, Siswarama Building
University of Malaya
50603 Kuala Lumpur
Tel:603-79675697
Fax:603-79675692
<http://civilisationaldialogue.um.edu.my>

最新の情報は以下のURLよりご確認ください。

http://rankyo-institute.lit.konan-u.ac.jp/~taniguchi/ichbs2010/ichbs_guide.html

会場アクセスのご案内





ICHBS2010 専用シャトルバス (PJ ヒルトン~マラヤ 大学法学部間) のご利用にあたって

- ★会議の開催期間中(19日~21日)のみ PJ ヒルトン(ヒルトン・ペタリンジャヤ)~マラヤ大学法学部までのシャトルバスが運行致します。
- ★PJ ヒルトンからシャトルバスをご利用になられる場合は、「アジア・ジャヤ Asia Jaya 駅」(「KL セントラル駅」からLRT【高架鉄道】の「クラナ・ジャヤ Kelana Jaya 線」に乗車。6駅17分。駅からホテルまで約700m)を下車し、PJ ヒルトンホテル前にお越しください。
- ★会議場 マラヤ大学法学部に直接お越しになられる場合は、「ユニバーシティ Universiti 駅」を下車し、徒歩15分になります。詳細は次ページの地図をご参照ください。



マラヤ大学構内図

本件に関する問合せ先・連絡先

第6回国際保健医療行動科学会議実行委員会・事務局

〒658-8501 神戸市東灘区岡本 8-9-1

甲南大学文学部 谷口文章研究室気付

TEL/FAX:078-435-2368 E-mail: fumiaki@konan-u.ac.jp



Center for Civilisational Dialogue (CCD)



レセプション会場

ゲスト・スピーカー宿舎

Rumah University



マラヤ大学正門

モスク

国際会議会場
Faculty of Law

池



Highway

高速道路 Highway

University 駅

putra LRT

PJゲート
Petaling Jaya gate



6th International Conference of Health Behavioral Science

ICHBS2010

SUSTAINABLE HEALTH PROMOTION:
DIALOGUE ON WELL-BEING & HUMAN SECURITY
IN ENVIRONMENTAL HEALTH

Conference Programme and Abstracts



Kuala Lumpur • Malaysia

19-21 September, 2010

Conference Programme

Dates		Sessions Schedule	Location
Day 0 Saturday, 18 September		Arrival of participants	
Day 1 Sunday, 19 September	8.00-9.00	Participant Registration	University of Malaya
	9.00-9.30	Opening Session Words of Welcome ★Prof. Fumiaki Taniguchi, President, Japan Academy of Health Behavioral Science, Japan ★Prof. Datin Dr. Azizan Baharuddin, Director, Centre for Civilisational Dialogue University of Malaya, Malaysia ★Tan Sri Dr Ismail Merican, Director General, Ministry of Health, Malaysia	Auditorium Faculty of Law
	9.30-10.10	Invited Lecture I "Realizing Sustainable Health Promotion in the Context of Global Public Health and Future Challenges" Prof. Darryl Macer, Regional Unit for Social and Human Sciences in Asia and the Pacific(RUSHAP) UNESCO, Thailand	
	10.10-10.50	Invited Lecture II "Malaysian Society and Health: Issues and Challenges in the 21 st Century " Prof. Dato' Dr. Mohd. Amin Jalaluddin, President, Asian Pacific Academic Consortium Public Health, Malaysia	
	10.50-11.00	Morning Break	
	11.00-11.40	Invited Lecture III "Narrative Practice in Creating New Storylines on the Aboriginal Women's Health and Healing in Local Level" Ms. Barbara Wingard, Murray Mallee Community Health Service, Australia	
	11.40-12.20	Plenary Lecture I "Towards a Sustainable Health Promotion in the Context of Environmental Health Care at the Global Level" Prof. Fumiaki Taniguchi, President, ICHBS2010, Japan	
	12.20-13.50	Lunch (Provided)	
	13.50-14.30	Plenary Lecture II "Dialogue between Religion and Science regarding Bioethics for Well-being and Human Security at the Glocal Level" Prof. Azizan Baharuddin, Director, UM CCD, Malaysia	
	14.30-16.00	Panel Discussion" Glocalisational Health Promotion: Dialogue on Well-being & Human Security in Environmental Health" Moderator: ★Prof. Dr. Azizan Baharuddin, Director, UM CCD, Malaysia ★Prof. Fumiaki Taniguchi, Konan University, Japan Panelists: ★"Well-being and Religion" Prof. Wan Azman Wan Ahmad, UM Medical Centre, Malaysia ★"Disaster and Human Security"	

		Dr. Benjaporn Panyayong, Ministry of Public Health, Department of Mental Health, Thailand	
		★“Man-made Disasters and PTSD”	
		Prof. Naoyasu Motomura, Osaka Medical College, Japan	
		★“Seeking for Dialectic Narrative Therapy from the Viewpoint of Well-being”	
		Ms. Barbara Wingard, Murray Mallee Community Health Service, Australia	
		★“Glocalisational Bridging Human Security, Well-being and Environmental Health”	
		Prof. Habib Chirzin, Director, Centre for Peace and Human Security Studies, Hamka University, Indonesia	
	16.00-16.30	Afternoon Break	
	16.30-17.30	Panel Discussion and/or Q & A –SYMPOSIUM continued	
		Summary and Closing for the Day	
	20.00-22.00	Welcome Reception (Venue: Rumah University/University House)	Rumah University
	10:00-18:00	Side-Event: Poster Exhibit-Presentation of Relevant Research Activities by Participants- *Poster Sessions (12:20 to 13:20) are set aside more specifically for the presentation of posters by their authors and for interaction with Conference participants.	
Day 2	8.30-9.00	Participant Registration(ongoing)	Faculty of Law
Monday, 20 September	9.00-12.00	Oral Presentation Session	
		★Session I: Health Promotion/Health Care/Narrative	Auditorium
		★Session II: Well-being	Conference Room
		★Session III: Human Security/Sustainability/Environmental Health	CCD Katha Hall
	12.00-13.30	Lunch (provided)	
	13.30-14.00	Invited Lecture IV	Auditorium Faculty of Law
		“Burden of Disease and Policy on Health in Malaysia” Dr. Lokman Hakim bin Sulaiman, Disease Control Division, Ministry of Health, Malaysia	
	14.00-14.30	Invited Lecture V	
		“For Improving the Sanitation and Foods of Developing Countries” Prof. Yoshihisa Shimizu, Kyoto University, Japan	
	14.30-14.45	Afternoon Break	
	14.45-17.30	Dialogue Session -Parallel Activities	
		★ Session A: Religious Hypnosis	Auditorium
		Facilitators: Dr. Amran Muhammad, Deputy Director, UM CCD Prof. Tomoko Morimoto, Gifu College of Nursing, Japan	
		“The Efficacy of the Practice of Surah Yaasin Recitation in Reducing Stress Levels”	
		Medical Practitioner: Mr. Anas bin Mohd Yunus, Darul Iman University Prof. Dr. Zulkifli A. Manaf, Darul Iman University, Malaysia	
		★ Session B: Unani Medicine(Islamic Medicine)	Conference Room
		Facilitators: Prof. Datin Dr. Zaharin Mohamed, Faculty of Medicine, UM, Malaysia Dr. Takayuki Yoshioka, Kobe City College of Nursing, Japan	
		“Unani Medicine as a Form of Islamic Medicine: Issues of Islamicity”	
		Medical Practitioner: Prof. Osman Bakar, Deputy Director, Institute of	

		Advanced Islamic Studies, UM, Malaysia	
		"Medical Healing vs Mental Healing"	
		Medical Practitioner: Mrs. Dalina Ismail, Principal Consultant, Quin Consult, Malaysia	CCD Katha Hall
		★ Session C: Narrative Approach	
		Facilitators: Ms. Barbara Wingard	
		Dr. Caroline Lopez, Visiting Scholar, UM CCD	
		Medical Practitioners:	
		Prof. Akira Nakagawa, Osaka Sangyo University, Japan	Auditorium
	17.30-18.00	Closing Session & Conference Wrap-Up	
	9:00-17:00	Side-Event: Poster Exhibit-Presentation of Relevant Research Activities by Participants- *Poster Sessions (12:00 to 13:00) are set aside more specifically for the presentation of posters by their authors and for interaction with Conference participants.	
Day 3		Morning Seminar & Educational Visit	Centre of Excellence
Tuesday,		► Half-Day Seminar(MORNING)	for Research in
21 September	10.00	Participant Registration	AIDS (CERIA)
	10.30-11.20	Keynote I	University of Malaya
		★ "HIV Prevention, Treatment and Care to the Marginalised Communities in Malaysia: Advances and Challenges"	
		Prof. Dr. Adeeba Kamarulzaman, President, Malaysian AIDS Council, Malaysia	
	11.20-11.30	Morning Break	
	11.30-12.20	Keynote II	
		★ "Migrant Health: Access to HIV Prevention, Treatment and Care for Migrant Populations in Japan"	
		Prof. Tadaharu Nakao, Yamanashi Gakuin University, Japan	Malaysian AIDS Council
	12.20-12.30	Q & A	
	12.30-14:00	Lunch (provided)	No 12, Jalan 13/48A
	14.00	► Half-Day Trip(AFTERNOON)	The Boulevard Shop
	14.30-16.30	Educational Visit	Office Off Jalan Sentul
		★ Malaysian AIDS Council	51000 Kuala Lumpur
		★ Rumah Solehah: Half Way Home for Women and Children with HIV/AIDS	Kampung Pandan
		Diabetes and Development: Experiences from the Field	
	17.00	Tour ends	
Optional Excursion			
Day 4		Post-Conference Tour	
Wednesday,		Endau Rompin National Park, Kampong Peta, Johor	
22 September		Research studies on lifestyle, folk medicine, religious initiation in the Jakun (Orang Asli) people village	
	7.00	Depart (<i>approx. 6-hours drive to Endau Rompin National Park</i>)	
	11.00	Briefing & Lunch	
	16.00	Visit to the Endau Rompin National Park	
		Welcome orientation at the visitor centre & free time	Endau Rompin National Park
	19.00	Dinner	
	20.00	Night cruise in a dugout boat	
Day 5	8.00	Breakfast	3 day/2 night stay at
Thursday,	9.00-17.00	A day trek and workshop on folk medicine, religious initiation by Jakun People	the park's bungalows
23 September	20.00	Dinner & Cultural Demonstration	

	8.00	Breakfast
Day 6	9.00-10.30	Workshop on <i>Berpoyang</i> of Orang Asli & free time
Friday,	11.00	Departure
24 September	13.00	Briefing & Lunch
	17.00	Estimated return time

Day 7		
Saturday,		Departure from KLIA for most international participants
25 September		

Topical Session Programme

ORAL PRESENTATIONS

SESSION A: Health promotion, Health Care, Narrative, Meditation

Co-chairs Naoyasu MOTOMURA & Amran MUHAMMAD

9:00- 9:20 **A1-1: Medical Social Worker Support for Patients' Economic Problem**

Aya SEIKE¹ Aki KOMADA¹ Carl BECKER¹

¹Graduate School of Human and Environmental Studies, Dept.of Human Coexistence, Kyoto University

9:20- 9:40 **A1-2: Social Construction of HIV/AIDS in Malaysian Print Media: A Comparative Analysis of Malay and English Newspaper Headlines from 2007-2009 on Key Populations at Higher Risk for HIV**

Adeeba KAMARULZAMAN

Professor, Head, Infectious Diseases Unit, Department of Medicine, Faculty of Medicine, University of Malaya

9:40-10:00 **A1-3: Introduction of Naikan Therapy as a Precursor to Narrative Based Approach**

Akira NAKAGAWA

Osaka Sangyo Univ.

Co-chairs: Akitoshi SOGABE & Warijo OTHMAN

10:00-10:20 **A2-1: Patients' Own Explanatory Model of Their Atopic Dermatitis: Interviews on Exacerbation Factors**

Aki KOMADA¹ Aya SEIKE¹

¹Human and Environmental studies, Kyoto University, Japan

10:20-10:40 **A2-2: Thai Perspectives on Abortion**

Anniken GRINVOLL

Eubios Ethics Institute

10:40-11:00 **A2-3: Review of the Project of Strengthening Eye Care System in Nepal**

Satoshi MATSUDA

Nakagami Eye Clinic

Co-chairs: Akira NAKAGAWA & Adeeva KAMARULZAMAN

11:00-11:20 **A3-1: Influence of Difference in Knee Alignment on the Profile of Mood States Scores after Walking**

Akitoshi SOGABE

Konan University

11:20-11:40 **A3-2: The Role of Health Education in Reducing Dengue Cases in Putrajaya**

Othman WARIJO

11:40-12:00 **A3-3: Sexual Behavior Japanese Men Who Have Sex with Men: Some Implications for HIV Prevention**

Hiroshi YAMAZAKI

Tokyo University, Graduate School of Humanities and Sociology

12:00-12:20 **A3-4: The Case for Supporting the Increase and Awareness in Relevant Women's Health Issues in the Young Ladies of Malaysia**

Subatra JAYARAJ

Center for Civilisational Dialogue, University Malaya

SESSION B: Well being: Social worker, Qualitative analysis, Biofeedback, Support

Co-chairs: Satoshi MATSUDA

- 9:00- 9:20 **B1-1: The Relationship between the Developmental Environment and Parents and Children Who Use Regional Parenting Support Center in Japan**
Yasuhiro NIIKAWA
Mie Chukyo University Junior College
- 9:20- 9:40 **B1-2: Managing Autistic Spectrum Disorder with Homeopathy**
Suriyakhatun OSMAN
- 9:40-10:00 **B1-3: Choices and Legitimacy: Seeking for Alternative Treatments of Eczema in Japan**
Miho USHIYAMA
University College London

Co-chairs: Tadaharu NAKAO

- 10:00-10:20 **B2-1: Basic Study on the Clinical Application of "Feeling Arts" as a Healing Method with a Biofeedback Approach**
¹Takayuki YOSHIOKA ¹Natsuki IKEDA ¹Kimiko HIRAMATSU ²Yoshihiro KITAMURA
¹Kobe City College of Nursing, Kobe, Japan ²Feeling Arts Academy
- 10:20-10:40 **B2-2: Religious Environmental Ethics and Its Influence in the Diffusion of Recycling Activities by Selected Religious Communities in Malaysia**
Zeeda Fatimah MOHAMAD
University Malaya
- 10:40-11:00 **B2-3: Spiritual Healing Energy: A Complementary Treatment to Heal Health Problem**
Jariah ABDULLAH
Executive Director, DR MARYA BEAUTY

Co-chairs: Takayuki YOSHIOKA & Dr. Carolina LOPEZ

- 11:00-11:20 **B3-1: Meanings of Physical Disability in Japan: A Qualitative Analysis of Narrative of People with Spina Bifida Occulta**
Yuichi FUJITA
Graduate School of Osaka Prefecture University
- 11:20-11:40 **B3-2: Traditional Healing in Malay Cultural: Case of Malay Manuscript of the 19th Century**
Roziah SIDIK
National University of Malaysia
- 11:40-12:00 **B3-3: The Meanings of "IKIZURASA (Difficulty of Living)" Expressed by Performing Illness Survivors**
Hiroshi SUGIMOTO
Department of Nursing, Faculty of Health Sciences, Niigata University of Health and Welfare

SESSION C: Human Security; Environmental Education, Ethics, Environmental health, Sustainable development

Co-chairs: Yoshihisa SHIMIZU & Rosta HARUN

- 9:00- 9:20 **C1-1: Consciousness and Behavior of University Students for Environmental Problems: Based on Questionnaire Survey at Hiroshima University(Japan), Fudan University(China) and University of Malaya(Malaysia)**
Mieko DOI
Graduate School of Social Sciences, Hiroshima University
- 9:20- 9:40 **C1-2: Spatial Determinant for Social Cohesion: Case Study Village of Kampung Bharu**
Noriati Mat SOM

Dept. of Architecture Faculty of Architecture, Planning & Surveying, Universiti Teknologi MARA

9:40-10:00 **C1-3: A Study on Educational Effects of Moral Discussion: From Viewpoints of Moral Atmosphere and Care**

Yoshifumi TAKAHARA

Graduate School of Education, Bukkyo University

Co-chairs: Hiroshi YAMAZAKI & Siti Korota Aini OMAR

10:00-10:20 **C2-1: Good Work as Foundation for Global Health: Possibilities in the Asian Century**

Jay WYSOCKI

Faculty of Economics and Administration

10:20-10:40 **C2-2: Factors Affecting the Compliance of Malarial Chemoprophylaxis during Pregnancy in Solomon Islands**

Miyuki HORIUCHI¹ Naoki NAKAZONO² Verilyn ISOM³ Takujiro ITO⁴

¹Kio University ²Kobe University

³Solomon Islands College of Higher Education ⁴IC Net Limited

10:40-11:00 **C2-3: Food and Health Issues in Malaysia Schools: Perspective of the Parent Teachers Association (PTA)**

Mohd. Ali HASSAN

President, NPTACC

Co-chairs: Yoshihisa SHIMIZU & Noriati Mat SOM

11:00-11:20 **C3-1: Integrated Environmental Education: Starting Young to Environmental Health**

Siti Korota Aini OMAR

University Technology MARA

11:20-11:40 **C3-2: A Study of Concept of Health from the Viewpoint of Ethical Value**

Riwa WATANABE

Graduate School of Humanities, Konan University

11:40-12:00 **C3-3: Environmental Sanitation of Orang Asli Community -Case Study of the Settlement of Oran Asli at Sungai Berua, Hulu Terengganu, Terengganu Darullman**

Rosta HARUN

University Putra Malaysia

POSTER PRESENTATIONS

HEALTH PROMOTION

- P-01** **Relationship between Self-Denial and social support among University Students**
*Toshiko UEDA¹, Tatsumasa KUBTA², Noriko HIGUCHI³, Sayuri HASHIMOTO¹,
 Tsunetsugu MUNAKATA¹*
¹ Graduate School of Comprehensive Human Science, University of Tsukuba
² Faculty of Management, Shizuoka Sangyo University
³ Faculty of Languages, Meikai University
-
- P-02** **Study on the Interactive Educational Programme; Second Report. Effectiveness of the International Activity for Health Course Students Studying Abroad**
*Yuko UESUGI¹, Kayo OSAWA¹, Osamu HORIE¹, Michiko SHINTANI¹, Naoki NAKAZONO¹,
 Yumi TAMURA¹, Nobuko MATSUDA¹, Satoshi TAKADA¹, Hiroya MATSUO¹, Shoji UGA¹*
¹ Kobe University Graduate School of Health Sciences
-
- P-03** **A Study of Job Search Stressors in Japanese University Students: Effects of Relaxation Program**
Yuina KITAMI¹, Kazuyo MORI¹
¹ J. F. Oberlin University
-
- P-04** **Awareness of Japanese female University students concerning HIV/AIDS and STD/STI -Awareness of the concerned persons or their supporters who want to be school nurses or health and physical education teachers-**
*Yuniko YAMASAKI¹, Akitoshi KONDO¹, Aki KANO¹, Teruko HAYASHI¹, Fumie URAKAWA¹,
 Fumiko INOUE², Rie IDEI¹, Toshiko INOUE², Hideo URAGISHI¹, Yoshimi HAYASHI¹,
 Sachiyo YOSHIKAWA², Noriko SAKATA², Yu MAKIGAWA¹*
¹ Sonoda Women's University ² Amagasaki City Public Health Center

HEALTH CARE

- P-05** **A Study of the Intergenerational Transmission within Mother-Child -Cognition Scale Child-Drawing for Mother-**
Taiko HASHIMOTO¹, Yuki ICHIJOH¹, Keiko OOKUMA²
¹ J.F Oberlin University Liberal Arts ² Bunkyo University
-
- P-06** **A Study of the Dependence in Japanese University Students -SCT Baum Test Dependence Scale**
Yuki ICHIJOH¹, Taiko HASHIMOTO¹, Keiko OOKUMA²
¹ J.F Oberlin University ² Bunkyo University
-
- P-07** **Aspects of Eating Disorder and Related Issues in Teenagers**
Norma Che Yusoff
 University Malaya
-
- P-08** **Spiritual Healing Energy: A Complementary Treatment to Heal Health Problems**
Jariah ABDULLAH
 Executive Director, DR MARYA BEAUTY
-
- P-09** **Actuarial Conditions of Community Watch Activities in Japan -Considering a Cooperative System of Caseworks for Children and Other Involved Organizations-**
Shinko FUJINAGA¹, Mieko SASE¹, Kimika USUI¹
¹ Konan Women's University
-
- P-10** **The Effects of a Physical Exercise Program for Physical and Mental Health on Japanese Older Adults**
Chihiro KEMURIYAMA
 Reserch Fellow of the Health Psychology & Welfare Reserch Institute, J. F. Oberlin University

MENTAL HEALTH

- P-11** **Building a Causal Model to Improve Nurse Resiliency**
Kiyomi TANIGUCHI¹, Fumi TAKEDA¹, Tsunetsugu MUNAKATA¹
¹ Tsukuba University Doctor's Course
- P-12** **A Study of Nursery Teachers' Mental Health: The Relationship between Social Skills and Efficacy**
Michiyo ABE¹, Toshihiko MOGI², Kazuyo MORI³
¹ J. F. Oberlin University Healthy Psychology and Welfare Laboratory
² J. F. Oberlin University, Graduate School ³ J. F. Oberlin University

NARRATIVE

- P-13** **The Study on HWA-BYUNG of Korea and Menopausal Symptoms of Japan: Directionality of the Narrative Therapy Introduction to Culture-Bound Syndrome**
Kazuo FUJITA
 Bukyo University, Modern Sociology Dept
- P-14** **Evaluation of the Educational Use of Cancer Narrative Database from "DIPEX-Japan": An Analysis of Students' Feedback**
Takehiko ITO¹, Tomoko ARAHATA², Noriko IBA³, Yohei OTAKA⁴, Tomoe KODAIRA⁵, Emiko WADA⁶, Takeo NAKAYAMA⁷
¹ Wako University ² Palliative Care Partners ³ DIPEX-Japan ⁴ Graduate School, Wako University
⁵ Seirei Christopher University ⁶ Formerly Osaka Prefecture University ⁷ Kyoto University
- P-15** **A Study of Narratives of People with Mental Illness: Characterizing Externalized Problems**
Yuko TSUDA¹, Miyuki MATSUBARA²
¹ Hiroshima Cosmopolitan University ² Japanese Red Cross Hiroshima College of Nursing
- P-16** **Meaning of the Narrative of a Woman Who Was Transported to Medical Institution and Had an of Unexpected Childbirth Experience**
Toshiko SAWADA
 Nagoya City University, Graduate School of Nursing

PSYCHOLOGY

- P-17** **Research of Relation between University Student's Lifestyle and Stress Coping**
Kyoko YOSHIDA
 J. F. Oberlin University
- P-18** **An Investigation on the Applicability of the Game Theory to Analyze the Decision Making Process Between Patients and Nurses**
Miyuki MATSUBARA
 Japanese Red Cross Hiroshima College of Nursing

SOCIAL SUPPORT

- P-19** **The Actual Conditions of Watch Networks for Elderly People Using ICT in Progressively Depopulated Areas in Japan**
Satoko UEMURA¹, Setsu MURAOKA², Yuko KAJI¹, Chieko TSUMURA¹
¹ Konan Women's University ² Otoyochō Local Comprehensive Support Center
- P-20** **Environmental Sanitation of Orang Asli Community -Case Study of the Settlement of Oran Asli at Sungai Berua, Hulu Terengganu, Terengganu Darul Iman**
Rosta HARUN¹, Mohamad Jaafar SULONG¹, Lim Kuang HOCK²
¹ Faculty of Environmental Studies, Universiti Putra Malaysia ² Institute of Medical Research Kuala Lumpur
- P-21** **Effects of a Stuffed Animal Designed for Nursing Care**
Tomoko MORIMOTO¹, Nanae SHINANI¹
¹ Gifu University of Medical Science

P-22	Drug Use and HIV among Fisherman in Kuantan on the East Coast of Peninsular Malaysia: An Analysis of Socioeconomic Change and the Impact on Increased Risk for HIV in the Community Adeeba KAMARULZAMAN <i>Professor, Head, Infectious Diseases Unit, Department of Medicine, Faculty of Medicine, University of Malaya</i>
P-23	Injecting and Sexual Risk Behaviour among Fisherman in Kuantan, Malaysia Adeeba KAMARULZAMAN <i>Professor, Head, Infectious Diseases Unit, Department of Medicine, Faculty of Medicine, University of Malaya</i>
P-24	Relaxation Effects of Hand-Massage on Autonomic Nervous Function and Mood: Comparison of Difference in the Human Relations Sato TSUYAKO ¹ , Yumiko YAMASAKI ² ¹ Ibaraki Christian University ² Sonoda Women's University
P-25	Organizing a Community by the Performance of Illness Hiroshi SUGIMOTO <i>Department of Nursing, Faculty of Health Science, Niigata University of Health and Welfare</i>
P-26	Spatial Determinant for Social Cohesion: Case Study Village of Kampung Bharu Noriati Mat Som <i>Dept. of Architecture, Faculty of Architecture, Planning & Surveying, Universiti Teknologi MARA</i>
RELIGION, EDUCATION, RISK MANAGEMENT	
P-27	Development of the Risk Perception Scale for Sexually Transmitted Infections on Japanese University Students Mitsuhiro AMAZAKI ^{1,2} , Kazuyo MORI ³ ¹ Graduate School of International Studies, J. F. Oberlin University, Tokyo, Japan ² Research Fellow of the Japan Society for the Promotion of Science ³ College of Health and Welfare, J. F. Oberlin University
P-28	Does Smoking Improve Attention and Locomotive Powers? Akiko HIGASHIYAMA ¹ , Yuko TAKAHASHI ² ¹ Kio University ² Nara Women's University
P-29	The Effectiveness for Education Program of Prevention Children from Smoking Cigarette in Japan Kikuko OKUDA ¹ , Kazuya KONDOU ¹ , Katsunori NAKASE ² , Shin-ichi YAMADA ² , Keiko AOKI ² , Mayumi NAKAMURA ² , Yoshiko GHOGI ¹ , Toshie HIROHARA ¹ , Chieko FUJII ¹ , Hokuma MUNAKATA ³ ¹ The University of Tokushima ² Tokushima Medical Association ³ Shikoku University
P-30	Religious Environmental Ethics and Its Influence in the Diffusion of Recycling Activities by Selected Religious Communities in Malaysia Zeeda Fatimah MOHAMAD ¹ , Norshahzila IDRIS ¹ ¹ Department of Science & Technology Studies, Faculty of Science, University Malaya
P-31	A Study on Career Maturity of Middle-Level Nurses Kyoko KANO ¹ , Mieko YAMAGUCHI ² , Tsutomu KAMEI ³ ¹ Shimane Prefectural Central Hospital ² Okayama Prefectural University ³ European University Viadrina
P-32	The Investigation of the Japanese Awareness Change on Health·Beauty by the Chinese Medicine Cosmetics Jie Zhang <i>Global Environmental Studies of Kyoto University</i>
P-33	Life Health Thinking from the Viewpoint of Natural and Social Environment: Case Studies of Deformed Monkey (Natural Environment), Minamata Disease(Social Environment), Food Additive (Modern Social Environment)

Yusuke TORII¹, Masao AMANO², Fumiaki TANIGUCHI¹
¹ Graduate School of Humanities, Konan University ² Kobe Shinwa Women's University

P-34 **Integrated Environmental Education: Starting Young to Environmental Health**
Siti Korota Aini OMAR
Faculty of Administrative Science and Policy Studies

P-35 **Environmental Learning at Kampung Bharu, Kuala Lumpur**
Siti Korota Aini OMAR
Faculty of Administrative Science and Policy Studies

SUSTAINABLE DEVELOPMENT

P-36 **Kuala Lumpur & Kuala Lipis Smog Phenomenon**
Syazwan Mohd. Shukri
University Malaya

P-37 **Malaysia Rain Forest Land Decline**
Fauziah ISMAIL
University Malaya

P-38 **Water Resource Management: Case Study in Klang Valley**
Muhammad Ehsan ASHRAF
University Malaya

P-39 **Usage of Plastic in Malaysia**
Akasyah Mohd. HANAFIAH
University Malaya

P-40 **Human Trading**
Cheng Poh AI
University Malaya

P-41 **Health Awareness in University Malaya**
Lim Jing Qian
University Malaya

P-42 **Making Your Children Healthier**
Nur Hidayah Binti Zainal
University Malaya
